

地元の「実践派」妹尾飛翔さんが講師

妹尾代表は、旭川工業高校自動車科を卒業後、旭川市内のIT関係企業に勤め、高速プリンター

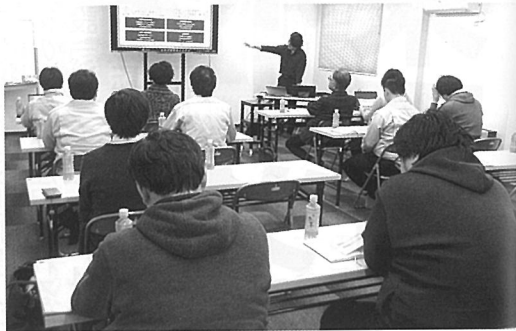
のメンテナンス業務などに携わった後、今年2月に同社を開業。「大学などで本格的にAIを学んだわけではない、いわば素人ですが、2年前にチャットGPTが画期的な技術であることを知っ

旭川の企業者の間でもチャットGPTをはじめとする生成AIの進化に関心が集まっている中、農業関連機械製造の㈱エフ・イー（旭川市工業団地）が10月27日、「生成AI社内研修」今日から使いたくなる生成AIを行った。市内のものづくり企業では先がけとなる社内研修会の講師を務めたのは、札幌を拠点に生成AI導入支援業務などを展開する「TDC NEXUS 合同会社」の妹尾飛翔代表で、「大切なのはAIに『使われる人』になるのか、それを使いこなし、新しい価値を生み出す人になるのか、その選択です」と強調した。

エフ・イーが生成AI社内研修

人間がアップデートしないといけない

自身がそう自覚するように「素人目線」でハードルを下げ、しかも地元の人たちと対面で各種のコンサ



旭川市内の企業としての先駆けとなる形で行われたエフ・イーの「生成AI社内研修」

ルティング業務を展開していることが一気に評判になり、大きく活動範囲を広げている。

習したデータをもとに作業を自動化、将来の出来事を予測する」ものにとどまったのに対し、生成AIは「主に学習したデータをもとに新たなコンテンツ・アイデアを創造する」という。

新アイデアなどを創造するツール

今回の「社内研修」には、外部の傍聴者を含め20人ほどが席に着いて行われたが、ここで妹尾代表がまず説明したのが、従来のAIと生成AIとの違い。

より効果的に活用できるよう挑戦を続けていきたいと考えている。

「優秀な秘書」のよう存在と考える

活用分野での主な特徴として、①文書作成の効率化②技術継承の支援③品質・安全管理④顧客対応以上の4点を挙げ、「例えば③では「検査結果の分析レポート」「改善提案書の作成」「安全チェックリスト作成」、④では「技術仕様書の説明資料」「見積もり提案書の作成」「アフターサービス対応文書」を例示した。

ただし、この秘書が少々厄介なのは、具体的なターゲットや目的がはつきりしないあやふやなプロンプト（指示、入力）では、望むような回答が得られないということ、その実際について、

取り扱いにはくれぐれも注意」「質問の仕方で答えが変わる」と知ることが必要と説明。

また特に製造業にあっては、「安全管理への影響」「品質管理との関係」「技術継承における役割」について、慎重な検討が求められるという。

「ここまで来た」生成AIの実状

このあと、革新的な技術と低コストで開発され

妹尾代表は次に「OpenAI（オープンAI）が開発した最新のAI」とするチャットGPTに話題を移し、「AIツールと聞くと、少し身構えてしまう方も多いかもしれませんが、チャットGPTは、何でも相談ができる優秀な秘書のような存在だと考えてくださ

ここで妹尾代表があらためて理解を求めているのが、AIは完璧な「解」ではなく、あくまでも人間の作業や業務を補助するためのサポートツールであり、これを安心して使うためにはまず、「情報100%正しいとは限らない」「機密情報の

「AIを活用できる人」とそうでない人との間には、今後ますます大きなスキルの差が広がっていくだろう。だからこそ、私自身も常に新しいテクノロジーに触れ、AIを

か、生成AIを取り巻く状況はもう、その段階にまで来たようだ。

（鳥谷部）